2019 年度深浦町農業再生協議会水田フル活用ビジョン

|1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題|

当町の水田面積に占める主食用米作付面積は約4割で、次いで飼料用米、飼料作物、 野菜の作付が多くなっている。

主食用米の需要が減少する中で、他の作物への転換と不作付地への飼料用米、野菜の作付けを促進することで、水田の有効活用を図っていく必要がある。

特に、農家の高齢化が進み、農家戸数の減少が見られ、不作付地の拡大が懸念されることから、農地中間管理事業の活用など各種制度を導入しながら担い手への農地の集積・集約を図り、水田の作物生産の維持・拡大を図るものとする。

2 作物ごとの取組方針等

当該地域の約900ha(不作付地を含む)の水田について、適地適作を基本として、産地 交付金を有効に活用しながら、作物生産の維持・拡大を図っていく。

(1) 主食用米

白神山地からの伏流水に育まれた安全、安心な米づくりを推進し、売れる米作りの徹底によって水稲経営の推進発展を目指す。

前年の需要動向や出荷業者、消費者等の意向を勘案しつつ、米の生産を行う。

(2) 非主食用米

ア 飼料用米

主食用米の需要減が見込まれる中、農業者が蓄積してきた多収穫技術や既存農業機械を有効活用できる飼料用米の生産拡大を図る。

当町のほ場整備は、西北地域の整備済 30a 以上シェア 71.4%に対し 11.8%と、大幅に遅れており、他地域よりも生産コストが高い状況にあることから、飼料用米の本作化や生産拡大にあたっては、県設定の産地交付金を活用し多収品種の普及を図るとともに、地域設定の産地交付金を活用し低コスト化(直播栽培、疎植栽培など)及び団地化の推進と、耕畜連携(わら利用)に取組、畜産農家へ安定的に飼料を供給することにより、飼料自給率の向上を図る。

イ 米粉用米

取組なし。

ウ 新市場開拓用米

取組なし。

エ WCS 用稲

畜産農家にとっては、飼料価値の高い飼料として利用できることから、需要に 応じた生産数量約 13 トンを確保するため、地域設定の産地交付金を活用し耕畜 連携(資源循環)の取組を進めるとともに作付拡大を目指す。

オー加工用米取組なし。

カ 備蓄米 取組なし。

(3) 麦、大豆、飼料作物

小麦、大豆については、取組なし。

飼料作物については、当町の畜産農家による粗飼料需要に応じた生産量約 132 トンを確保するため、地域設定の産地交付金を活用し耕畜連携(水田放牧)に取組、水田の有効活用を図るとともに、土壌改良など生産性向上の取組を推進する。

(4) そば、なたね 取組なし。

(5) 高収益作物 (園芸作物等)

米の需要量が減少している中で、農家所得を確保していくため、野菜等高収益作物の作付け拡大を目指す。

地域設定の産地交付金による支援を行いながら、栽培マニュアルに基づく栽培・ 土壌診断等、適正な施肥管理の徹底によるさらなる品質向上により、市場評価の高い「アスパラガス」、「トマト」などの産地ブランド化を目指すとともに、毎年90万人を超える観光客の消費と、3ヵ所ある産直施設を活用した地産地消による販売拡大を図り取組面積の拡大を推進する。

(6) 畑地化の推進 取組なし。

3 作物ごとの作付予定面積

作物	前年度の作付面積	当年度の作付予定面積	2020 年度の作付目標面積
	(ha)	(ha)	(ha)
主食用米	359. 8	347. 5	330. 7
飼料用米	122. 0	135. 0	150. 0
米粉用米	0	0	0
新市場開拓用米	0	0	0
WCS 用稲	1.1	1.8	2. 0
加工用米	0	0	0
備蓄米	0	0	0
麦	3.0	0	0

大豆		0	0	0
飼料	作物	43. 2	44. 5	46.0
そば		0	0	0
なた	ね	0	0	0
その	他地域振興作物	17. 8	18.8	19.8
	アスパラガス	4. 4	4. 5	4. 8
-	フキ	8. 4	8. 4	8. 6
	トマト	1.5	1. 6	1. 7
	カボチャ	1.9	2. 0	2. 1
	ミニトマト	0. 2	0. 2	0. 3
	その他野菜	1. 4	2. 1	2. 3
計		546. 9	547. 6	548. 5

4 課題解決に向けた取組及び目標

整理					
番号	<u>対象作物</u>	<u>使途名</u>	<u>目標</u>	前年度(実績)	目標値
1	飼料用米	飼料用米の低コスト 生産支援	生産性向上取組面積 10a 当たり生産費	(2018 年度) 121. 7ha (2018 年度) 62, 510 円/10a	(2020 年度) 150. 0ha (2020 年度) 61, 052 円 /10a
2	飼料作物	 飼料作物の生産向上 支援	生産性向上取組面積 10a 当たり収量目標	(2018 年度) 43. 2ha (2018 年度) 493 kg /10a	(2020 年度) 46. 0ha (2020 年度) 557 kg /10a
3	(アスパラガス、 フキ、トマト、 カボチャ、ミニト マト)	高収益作物規模拡大 支援	作付面積	(2018 年度) 16. 3ha	(2020 年度) 17. 5ha
4	別紙1 産地交付 金支援対象作物等 一覧のとおり	地域振興作物助成	作付面積	(2018 年度)1. 4ha	(2020 年度) 2. 3ha
5	飼料用米生産圃場 の 稲わら	耕畜連携助成(わら利用)	わら利用取組面積	(2018 年度) 92. 5ha	(2020 年度)100.0ha
6	飼料作物	耕畜連携助成(水田放牧)	水田放牧取組面積	(2018 年度) 4. 44ha	(2020 年度) 4. 88ha
7	WCS用稲	耕畜連携助成 (資源循環)	資源循環取組面積	(2018 年度)1.1ha	(2020 年度) 2. 0ha